

## サマーフェスティバル & かわ舟祭

新型コロナウイルスの影響で例年とは違う形でのサマーフェスティバル（夏まつり）と  
かわ舟祭になりましたが、利用者・職員とも楽しみました♪

サマーフェスティバル  
8月6日(木)

かわ舟祭  
10月29日(木)



### 今後の事業日程(予定)

- 1月 初釜
- 2月 節分、歳祝い
- 3月 地域懇談会、慰労会



### 苦情や要望お寄せください。

当施設では苦情や要望を承っております。より良い施設づくりのため、お気づきの点がございましたら、どんなことでもお寄せください。  
(担当:佐々木龍公)

### 編集 後記

寒い季節の到来と共に新型コロナウイルスの第3波が訪れようとしてます。今私たちに出来る事は手洗い・うがいに加え十分な換気だと思ってます。  
まだまだ先行きは見えませんが、良いお年をお迎えください。(S.A)

### 広報

# かわ舟

発行 社会福祉法人  
かわ舟の里角間川  
施設長 三浦 靖之  
〒014-1413  
秋田県大仙市角間川町字町頭98  
TEL 0187(65)3676  
FAX 0187(65)3191



例年とは異なるかわ舟祭でしたが、利用者・職員一同、かわ舟祭にて日々の練習の成果を見せました。

### 愚痴

かわ舟の里角間川 施設長

三浦 靖之

最近、新型コロナウイルスの対応のため、施設内でも、私的にも制約が多くなっています。愚痴という言葉は、「おろか」という漢字が二つ重なっています。グチばっかり言っているのは、二重に愚かだという意味だと思います。とは言っても、ついつい愚痴っぽくなるこの頃です。利用者の方々も、夏まつりやかわ舟祭はお客様が来所しない。お盆帰省、正月帰省も出来ない。気持ちが落ち込むばかりです。職員は、利用者の皆さんのが見たくて、知恵を振り絞ってこんな時だから

ら出来る行事や、企画を行いました。何と言っても我々職員の大好物は、利用者の皆さん方の笑顔です。

これからもしばらく、こんな状況が続きそうです。我々職員が元気を出さなければ、きっと利用者の皆さんも元気が出ないとおもいます。逆に利用者の皆さんのが笑っていないと、我々職員も心からの笑顔になられません。

いよいよ厳しい寒さがしばらく続きます。「新型コロナ」だけでなく「インフルエンザ」や「ノロ」…心配事は山積みです。愚痴ばかり言っているのはおろかです。今できることを増やしながら、あえて元気に、楽しく施設生活を送って行きたいと思います。

施設を見守ってくれている皆さん、「心の中の応援」を今こそお願いいたします。

## 令和2年 ベストショット1



## 令和2年 ベストショット2



## 善意に感謝

- サツマイモの寄贈 (11月)  
角間川小学校様
- 手作りクリスマスリース (12月)  
角間川保育園様

本年も皆様から「あたたかいお気持ち」をたくさんいただきました。  
紙面をもってお礼に替えさせていただきます。

- マスクの寄贈  
秋田県様  
大仙市様
- アルコール、防護服の寄贈  
秋田県様



## 故人を偲んで

昨年11月より入院していた小山田義一さんですが、長い闘病生活の末、今年の5月に天国へ旅立られました。  
石原裕次郎やスノーポール作業、そしてお母さんのことがとても大好きだった義一さん。  
天国では自分の大好きな事を見つけられているのかな。



## 新型コロナウイルス感染対策について

かわ舟の里角間川では、新型コロナウイルス感染対策として、これまで以上に石鹼による手洗いやアルコール消毒、うがいの徹底。そして朝夕の換気の実施を行っています。又食堂にはパーテーションを置き、飛沫防止に努めています。



### 出前講座

10月9日(金)秋田県から委託を受けた県医師会の医師の方々2名が来所され、「新型コロナウイルス出前講座」ということで、感染症対策の勉強会が我が施設を会場に行われました。会場が密にならないように参加者を30人にして開催され、嘱託医である伊藤良医師からも参加いただき、市立大曲病院、法人内の他事業所からの参加がありました。第1部として新型コロナウイルスについての講義、第2部として防護服の着脱方法についての実技を教わりました。日に日に新型コロナウイルスの脅威が身にしみてくるこの頃、タイムリーな講座は非常にありがたい機会であり、参加者はみな熱心に参加していました。秋田県並びに県医師会の方々に感謝しております。

